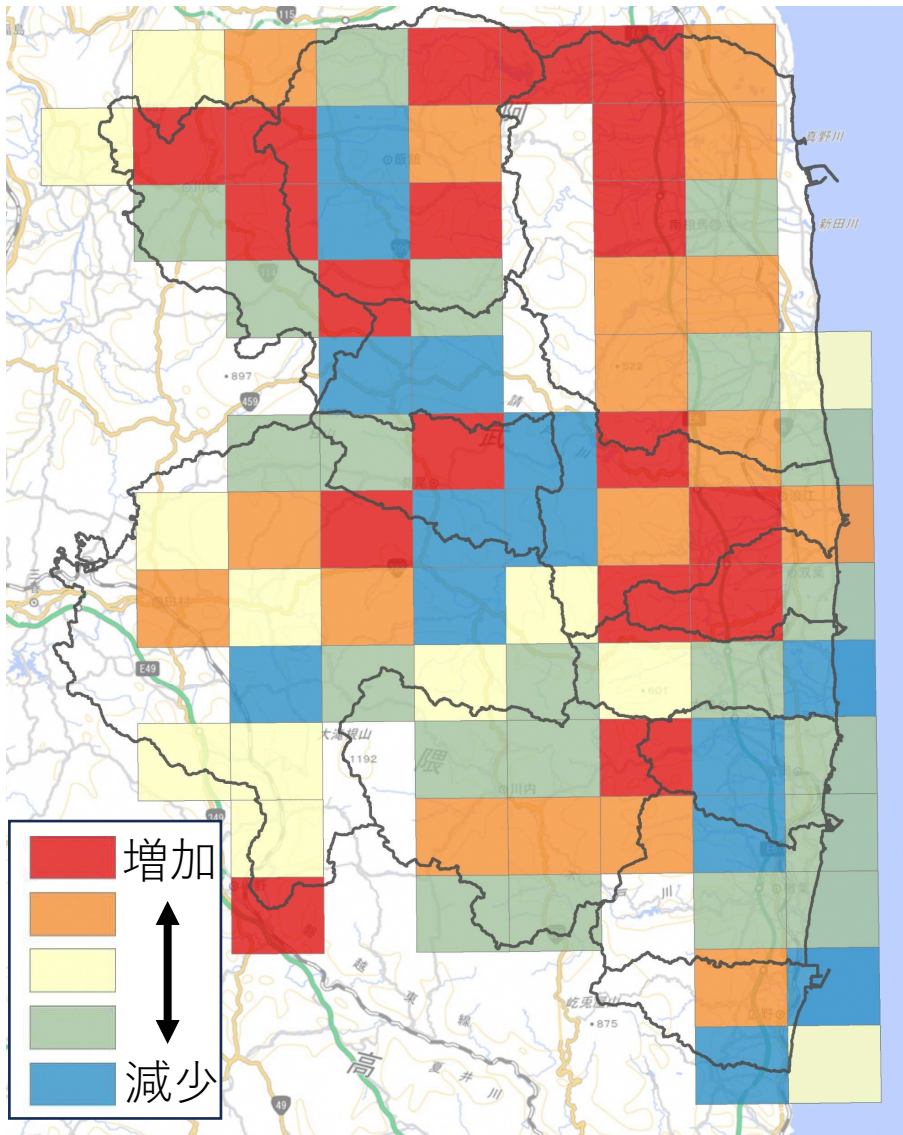
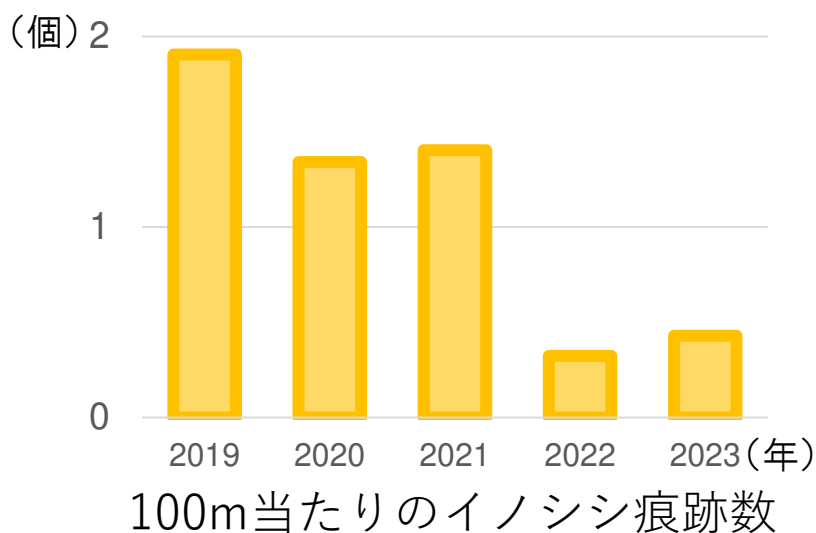


鳥獣対策だより

避難12市町村イノシシ出没が増加か



イノシシ痕跡数の変化傾向 (2022→2023)



左の地図とグラフは、避難地域鳥獣対策支援員と環境省が、避難12市町村で毎年行っているイノシシ痕跡調査の結果です。この調査では、イノシシの出没頻度を把握することを目的とし、掘り返し、足跡、糞などの痕跡をカウントしました。

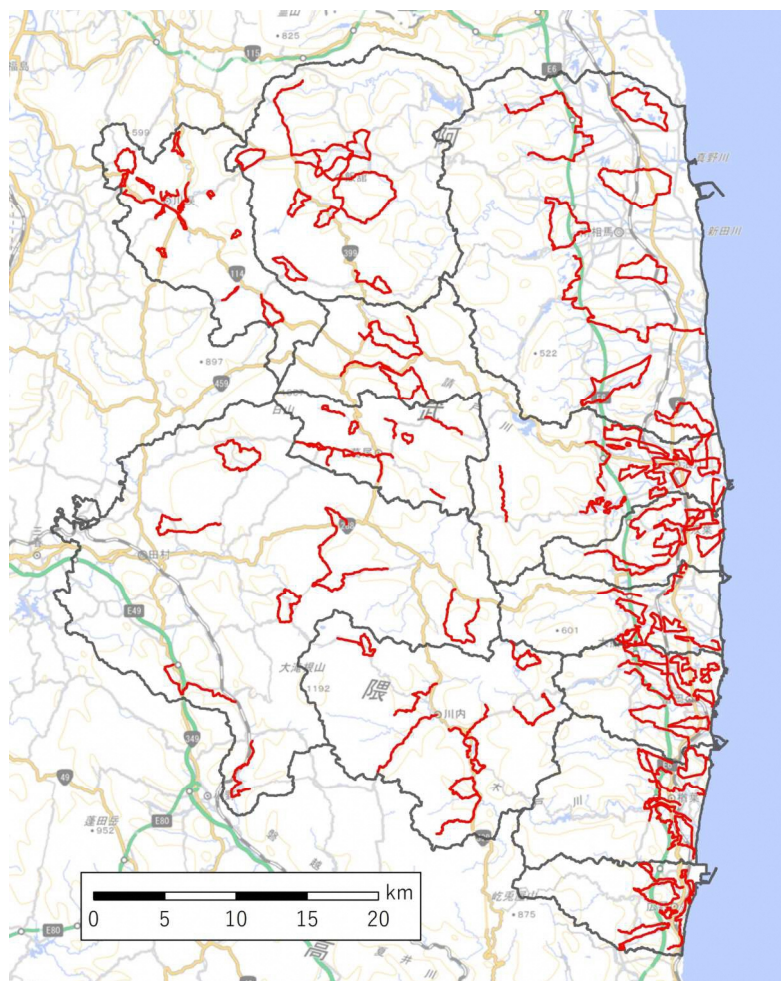
2023年の痕跡数は、2022年に比べ、やや増加しています。特に北側の市町村で増加傾向が見られますが、南側では減少している地域も多くあります。今後、他調査との比較が必要ですが、一部の地域では、イノシシ出没リスクが増え始めているかも知れません。

ただし、2021年以前と比較すれば、痕跡数が少ない状況は続いています。人間の生活圏へのイノシシ侵入を防ぐため、しっかり対策していくことが重要です。

裏面は調査方法を解説

イノシシの痕跡は目と足で集める！

右の地図に示した赤い線は、今年度のイノシシ痕跡調査で踏査したコースです。総延長は734,164m、9月から11月までの約3ヶ月、調査者がひたすら歩き、道路沿いの痕跡を目視で数えました。調査は5年目となり、蓄積された情報が、避難12市町村のイノシシ基礎データとしての役割を果たしています。



イノシシの生態や対策、その他の鳥獣対策については過去の「鳥獣対策だより」をご覧ください。スマホやタブレットで右のQRコードを読み込むか“福島県 鳥獣対策だより”で検索！



支援員日記

富岡町では昨年4月の避難指示解除に伴い、国道6号線沿いの建物が多く取り壊されています。支援員事務所に隣接したガソリンスタ

ンドも解体されました。周辺が賑わうきっかけになってほしいと思う反面、震災の記憶が薄れていくようで複雑な気持ちです。(石井)

福島県では、避難地域鳥獣対策支援員を避難地域12市町村に配置しています。地域住民と共に鳥獣害対策に取り組み、コミュニティの再構築を図ることを目的としています。



対策のご相談、情報提供はお住まいの市町村役場の担当課へ！